全室協鹿児島支部総会

松田支部長再選　新市場開拓を

全国建設室内工事協会鹿児島支部（松田賀光支部長）は5日、鹿児島市のホテルタイセイアネックスで第26期総会を開き、自主管理施工の強化推進などを柱とする新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う改選では松田支部長（㈱幸田技建）の続投を決めた。

総会の冒頭、松田支部長が「これまでを振り返ると新規会員の増強や共同受注などを推進できたことが最大の成果。当支部が無事に推進できたのも会員、賛助会員の皆様の努力と協力の賜物と深く敬意を表します。今日の総会では、今後ますますの発展のため、つつがない意見を出し合っていただきたい」と挨拶。

引き続き、議案審議に移り、13年度事業報告・収支決算、14年度事業計画・予算案などを原案通り可決承認。また、任期満了に伴う役員改選では松田支部長を再選した。

新年度事業計画は、①新市場の開拓と経営革新・近代化を図る②自主管理施工の強化推進③品質管理体制整備の実施④特別会員との研究会開催―など。

新役員は次の通り。

支部長＝松田賀光▽副支部長＝中村利夫（㈱ナカムラ内装）君野建也（㈲内装のきみの）▽理事＝藤本文弥（㈱中央建装）水流佳章（㈱サン・インテリア）▽相談役＝花井照夫（日建金属㈱）新村均（㈲中島建装）

矢野氏（左）の読み上げる決議案を満場一致で承認した総会＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で

品質管理体制整備の実施などを決めた総会＝鹿児島市のホテルタイセイアネックスで

「良いコンクリート」特別講演

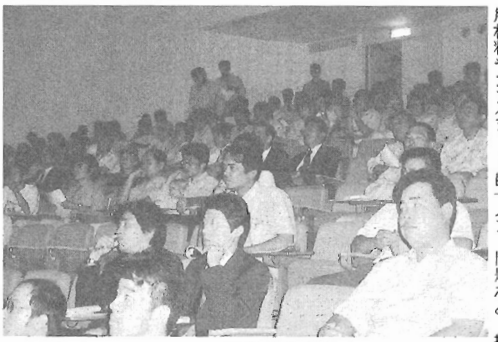
耐久性、劣化等を解説

鹿児島大学

鹿児島大学工学部海洋土木工学科は5日、鹿児島市の同大学で「良いコンクリート」と題した特別講演を開き、生徒や建設業界関係者らが出席して、材料や配合、施工方法や維持管理手法の見直し、ストックマネージメント問題など、技術的にも急激な変動期にあることから、材料、配合、施工並びに維持管理の観点からみた良質なコンクリートについて解説するもの。

講演では、松下博通九州大学教授（鹿児島大学大学院理工学研究科非常講師）が良いコンクリートとは分離が少なく、所要の強度があり施工性、耐久性等に富んだものであると前置きした。耐久性と劣化では「コンクリートの劣化現象で塩害、中性化、アルカリ骨材反応、化学的侵食、すりへり、凍害などがある」と説明。コンクリート高欄の中性化の事例などについて、参加者はメモを取りながら聴講した。

なお、同日はシラスコンクリートによる実施工例のビデオ上映なども行われた。


コンクリートの品質の多様化など熱心に聴講する参加者＝鹿児島市の鹿児島大学で

鹿児島市

九州新幹線建設促進協総会

全線の早期整備に努力

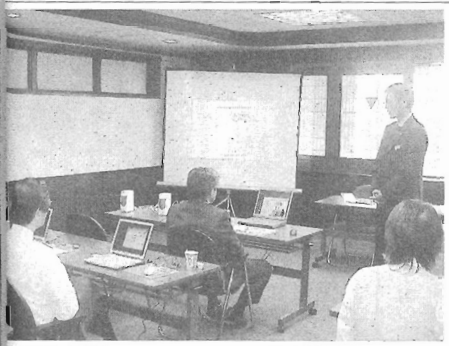
鹿児島市九州新幹線建設促進協議会（会長・赤崎義則鹿児島市長）は5日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で14年度総会を開き、西鹿児島―新八代間の15年末完成及び早期開業や鹿児島ルート全線の早期整備の実現に向けて全力を傾注していくことなどを盛り込んだ決議を採択した。

冒頭、赤崎会長が「西鹿児島―新八代間の15年末の開業に合わせて急ピッチで整備が進められている」開通を願うと同時に、魅力あるまちづくりを図っていきたい」と挨拶。

次いで、来賓の和田正道県出納長が「開業効果を高めるためには博多までの全線開通が不可欠。早期整備、早期開業へ努力して頂きたい」と言葉を寄せたほか、秋田勝次日本鉄道建設公団九州新幹線建設局次長、後藤文明九州旅客鉄道㈱総合企画本部新幹線計画室課長が「鹿児島県内の工事は順調に推移している」進め、15年末までには完成させ、試運転後の16年春には開業したい」などと祝辞を述べた。

続いて、赤崎会長を議長に14年度事業計画案を審議し、原案通り可決承認したほか、矢野健鹿児島青年会議所理事長（安全産業㈱）が「55万市民はもとより、県民全体の悲願である鹿児島ルート全線開通の実現に向けて全力を傾注します」と決議案を力強く読み上げた後、満場一致で可決承認した。

採択された決議は、①西鹿児島～新八代間の早期開業を図る②鹿児島ルート全線の早期整備実現に努める③建設費の地方充実を図る―などを盛り込んだほか、今後の活動計画としては、関係団体と合同で国土交通省や財務省など中央省庁への要望活動を推進していく。


活用法などについて説明があったセミナー＝鹿児島市の同営業所で

バーチャルハウス無料体験セミナー

簡単操作でパース作成

福井コンピュータ

福井コンピュータ㈱鹿児島営業所は4日、鹿児島市の同営業所で「バーチャルハウス無料体験セミナー」を開き、住宅関連会社の営業・CAD担当者ら10人が参加して、パソコンで簡単操作でリアルなカラーパースを作成するなど体験した。

午前、午後の部それぞれ幸所長が「施主の要望を的確に取り入れ、簡単操作で間取り図からリアルなカラーパースを作成し、プレゼンボードを自動作成できるのが大きな特長。また、打ち合わせの場で変更などもすぐにできるソフトとなっており、今までにない新しい住宅の提案としてお役に立つと操作して頂き、良さを体験して頂きたい」と挨拶。

この後、プロジェクターでヒアリングとプランニングのプログラムなどの操作方法や活用法を詳しく解説。参加者は、今後の提案に生かそうと熱心に聴講していた。

なお、同セミナーの開催予定として、11日は川内市の市民会館、17日は鹿屋市の鹿屋商工会議所で午前の部・10時からと午後の部・1時30分からの2部構成で同様に実施する。

YKKAP、移動展示会

多彩な商品群で盛況

YKKAP㈱鹿児島支店（福永弘支店長）は2日から県内各地で、メークアップスタイル「暮らし、もっと自分らしく」をテーマに移動展示車による展示会を開催する。第一弾となった鹿屋展示会では、移動展示車に全開放サッシ（ワイドオープン）、木彫玄関ドア（ヴェナード）、木とアルミの複合窓（エピソードウッド）など展示して「自分らしさにこだわり、住まいにも自分にあったスタイルを強く求める方々へ新しい住まいづくりを」と提案しアピールしている。

当日は、業者など多くの来場者に瀬戸山亮治鹿屋営業所長は「地元展示会は初めての試みでしたが予想を上まわる来場にありがたい」と感謝、テキパキと応対にまわった。

また来場していた百枝敏郎社長（㈲百枝アルミ）は「地元で開催され現物を見てさわって品物の良さが分かるのでありがたい」と話した。

移動展示会スケジュールは次の通り。

8日＝加治木営業所▽9日＝川内営業所▽10日＝高尾野町工業団地▽11日＝鹿児島支店▽26日＝奄美分化センター

新しい住まいづくりを提案した移動展示会＝鹿屋市の同社旧営業所で

お手軽で便利な購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ